

松島町教育委員議事録（令和3年3月定例会）

- 1 招 集 月 日 令和3年3月24日（水曜日）
- 2 招 集 場 所 松島町役場庁舎 301会議室
- 3 出 席 者 内海俊行教育長、鈴木康夫委員、佐藤晴子委員、安倍七恵委員

4 説明のため出席した者

赤間隆之教育課長兼学校給食センター所長、
伊藤政宏教育課参事兼中央公民館長兼文化観光交流館長兼勤労青少年ホーム所長、
大宮司綾学校教育班長、石川祐吾生涯学習班長、
小岩輝学校教育班主事、三品隆教育指導専門員

5 議 事 日 程

1. 開会 令和3年3月24日（水曜日）午前10時00分 開会（録音開始）
2. 前回委員会の議事録の承認
3. 議事録の署名委員の指名 鈴木委員・佐藤委員
4. 報告事項
 - (1) 一般事務報告
 - (2) 教育長報告
 - (3) 3月定例議会・臨時議会報告
5. 協議事項
 - (1) 令和3年度（令和2年度対象）松島町教育委員会教育行政点検評価報告書の作成について
 - (2) 令和3年4月定例会について
日程案：令和3年4月23日（金）午前10時00分 松島町役場3階 302会議室
6. その他
 - (1) 松島町教職員離任式について
日程：令和3年3月31日（水）午前9時00分 松島町役場2階 201会議室
 - (2) 松島町教職員宣誓式について
日程：令和3年4月2日（金）午後2時00分 松島町役場3階 大会議室
 - (3) 松島町立幼稚園入園式及び松島町立小中学校入学式について
日程：令和3年4月9日（金） 各幼稚園、各小・中学校
7. 閉会

6 議 事 録

1. 開会 午前 10 時 00 分

〔小岩主事〕

皆さん、おはようございます。（「おはようございます」の声あり）ただいまより松島町教育委員会会議令和 3 年 3 月定例会を開会します。瀬野尾教育長職務代理者と児玉次長が所用のため欠席となります。

開会の挨拶を内海教育長よりお願いします。

〔内海教育長〕皆さん、おはようございます。（「おはようございます」の声あり）

おかげさまでと言いたいんですが、おかげさまでではなく、昨年 4 月から今まで無事に終わればよかったんですけども、なかなかコロナの関係で思うようにいかない部分が多々ありました。

ただ、未履修とかはないんですが、これで収束してくれればいいかなと思っている矢先に、第一小学校のほうで、ご存じのようにコロナが発生したということで、今その対応をしているところでございます。どうなるかはまだこの後分からないんですけども、保護者の方々が落ち着いて対応してもらっているということは本当にありがたいなと思っているところです。

今日で令和 2 年度の定例会は終了なんですけど、どうぞご忌憚のないご意見をいただきますようお願いいたします。開会の挨拶とします。以上です。

〔小岩主事〕ありがとうございます。

2. 前回委員会の議事録の承認

〔小岩主事〕続きまして、2 番、前回委員会の議事録の承認について。

2 月定例会の議事録について、配付のとおり承認ということでよろしいでしょうか。（「はい」の声あり）ありがとうございます。

3. 議事録の署名委員の指名

〔小岩主事〕続きまして、3 番、議事録署名委員の指名について。

今回は鈴木委員と佐藤委員をお願いします。よろしくをお願いします。

4. 報告事項

(1) 一般事務報告について

〔小岩主事〕続きまして、4 番、報告事項に移ります。(1) 一般事務報告について、学校教育班からお願いします。

〔大宮司班長〕それでは資料の 1 ページをお開き願います。

学校教育班所管の行事報告をさせていただきます。

3 月 3 日でございます。3 日から 18 日まで、町の議会の定例会が開催されました。

13 日土曜日、中学校卒業証書授与式、16 日は町内の町立幼稚園の卒園式、19 日は町内小学校の卒業式と、無事卒園、卒業の儀式が執り行われたところでございます。

そして、20 日に松島第一小学校で新型コロナウイルスの罹患者 1 名出たということで、第一小学校は 22 日と 23 日の 2 日間学校休業とさせていただいたところでございます。

そして、本日 24 日、町内各幼稚園、小中学校とも修了式が実施されております。

行事報告は以上でございます。

行事予定に移らせていただきます。

3 月 31 日は教職員の離任式、4 月 2 日は教職員の宣誓式を予定しております。

そして、学校関係は 8 日に幼稚園、小中学校とも始業式を予定しております。

9 日は、こちらにちょっと書き漏れしているんですけども、幼稚園、小中学校の入園・入学式を 9 日に全て実施させていただくこととしておりますので、こちらに幼稚園の入園式のほうも加えていただければと思います。申し訳ございません。

各幼稚園、小学校の入園、入学の人数をお知らせしたいと思います。

幼稚園のほうは、第一幼稚園が 3 歳児 17 名、第二幼稚園は 4 名、第五幼稚園も 4 名で予定しております。

町立小学校のほうは、第一小学校が 51 名、第二小学校が 29 名、第五小学校が 7 名、合計で小学生が 87 名、中学校は 99 名となっております。

以上、行事予定を終わらせていただきます。

〔小岩主事〕 続きまして、学校給食センターからお願いします。

〔赤間所長〕 給食センターから報告させていただきます。

行事報告ですが、3月23日、本年度、令和2年度の給食提供が終了、最終日でございました。

行事予定であります。4月12日、令和3年度の給食開始日となっておりますのでございます。

また、給食が昨日終わりましたので、2月の地震において給食センター、ちょっと天井のほうの修繕が必要となりましたので、本日から修繕に入るといような行事日程になっております。

以上でございます。

〔小岩主事〕 続きまして、生涯学習班からお願いします。

〔石川班長〕 資料3ページをご覧くださいと思います。

生涯学習班のほうから行事の予定と報告をさせていただきます。

まず、3月20日から21日、ジュニアリーダーの初級研修会を開催いたしました。受講者は12名で、内訳としましては、第一小学校3名、第二小学校2名、松島中学校が7名となっております。初級研修会認定プログラムに基づきまして、危険予知訓練やものづくり研修などを行っております。

3月22日月曜日、文化財保護委員会を開催いたしました。陽徳院霊屋の美装化事業の現況確認を行っております。

また、10年に1回見直しが行われます特別名勝松島保存管理計画の策定作業が来年度より本格的にスタートするという流れになっておりまして、策定などのスケジュール等について説明を行っております。

行事予定欄をご覧くださいと思います。

3月25日、こちら昨年延期されました聖火リレーは、3月25日に福島県を出発いたします。宮城県は6月19日から6月21日までの3日間で、松島町を通過するのは2日目の6月20日日曜日となっております。新型コロナウイルス蔓延防止の観点から、観覧者の密の回避等が求められており、県実行委員会と協力して対策を行っていく予定でございます。

3月26日金曜日、第2回スポーツ推進委員会議を開催する予定でございます。議事としましては、今年度の行事報告並びに来年度の行事予定としております。去年はコロナ禍により活動の制約が多く、各種スポーツ行事が中止や延期されましたが、来年度はオリンピックイヤーということでもあり、コロナの状況を見ながら徐々に活動の機会が増えていくものと考えているところでございます。

また、3月27日のセタシマクエスト、こちらにつきましては、昨今のコロナの流行状況から中止とさせていただいております。

以上でございます。

〔小岩主事〕 続きまして、中央公民館・文化観光交流館・勤労青少年ホーム、お願いします。

〔伊藤館長〕 それでは4ページ、中央公民館等の行事報告についてでございますが、3月6日の御朱印帳教室ですが、定員10名ということで10名の参加がございました。

次に、7日のBBI主催の津軽こぎん刺しワークショップですが、こちらは20名の参加がございました。

11日の第6回松島町分館長会議でございますが、昨年延期しました第60回ふれあいスポーツ大会の実施について協議を行っております。分館長さんたちのご意見としては、コロナの県内感染者が増えている状況なのでなかなか開催するのは難しいのではないかとというのが大半でございました。

あと、23日にはヨガ教室ということで、1部、2部と時間帯をずらしまして、合計で27名の参加がありました。

行事予定でございますが、巡回図書を始めました。27日のヨガ教室でございますが、予定には入っておりますが、コロナの感染者増加ということもございますので、実施をするかしないかについて検討したいと思っております。

4月15日、第1回分館長会議で、3月31日で分館長の任期が満了となりますので、分館長の委嘱状交付と、それから、ふれあいスポーツ大会の実施の可否につきまして、分館長会議として最終的に結論を出すということになっております。

以上でございます。

〔小岩主事〕 それでは、一般事務報告について、ご質問等ございますか。

(質疑)

鈴木委員

一小的コロナに対して教育委員会としてどのような対応をしたのですか。

内海教育長

大宮司班長から。

大宮司班長

20日の土曜日に児童1名の感染が確認というところになりまして、学校を含めて、教育委員会もすぐ集合しまして、対応のほうを検討させていただきました。そのお子さんの濃厚接触の状況

とか行動履歴のほうからPCR検査を受ける必要があるかどうかという判断を、基本的には全て保健所のほうでやるということになりまして、そのクラスと隣のクラスの一部が検査を受けることになりました。学年全部がPCR対象なわけではないんですけども、子どもたちのふだんの様子から考えて、学年全てにおいて、その学年だけは今日もお休みした上で健康観察をするというふうな形をとっております。

それ以外の学年に関しては2日間、学校全体を休業ということで、学校保健安全法の第20条に基づいて休業の決定をさせていただきましたので、2日間は全体を休業にしまして、今日、短時間ですけれども修了式をさせていただいたということになります。

学校の消毒に関しては、その休業の2日間でもって75度のアルコールでの拭き掃除というか、拭いた消毒でよろしいということで保健所のほうからもありましたので、特に業者の業務委託とかはせずに、学校の先生方で、ふだん子どもたちが手を触れる場所とか接触が多い場所、さらにほこりと一緒に落ちて、平面によく積もるといふように言われていますので、その辺もきれいに75度のアルコールを使って、養護教諭の指示の下、教員皆さんでやっていくということです。

さらに、学校の先生はその休業期間中、時差での出勤で対応させていただいて、全員一斉に来るといふことじゃなくて、半分ずつとかで時差の対応を少しして分散をするという対応をさせていただきました。

鈴木委員 塩竈の保健所ですかね、保健所からの指導はあったのですか。

大宮司班長 学校生活に対しての指導は特に具体的にはありませんでした。そういう対応をさせていただいているところです。

内海教育長 保護者通知も適宜出しましたよね。

大宮司班長 休日の発覚だったので、お手紙を子どもさんたちがいるうちに出せないというところがありましたので、学校でもnopaメールという一斉メールのシステムで緊急の連絡等々はさせていただいていますので、それでもって急ぎ連絡をさせていただいたような形になります。それで開封確認ができるようになってるので、見ていないご家庭には、またフォローの電話を入れたりとかしながら、学校の先生も周知徹底にしっかりと取り組んでいただきましたので、その辺は漏れなく、必要な情報は必要なご家庭に届くように、学校のほうでも実施していただいたところです。

内海教育長 班長からお話ががあったように、やはり一旦感染しますと数が多岐にいろいろな子どもたちにわたりますので、先ほどちょっと班長が言い忘れたと思うんですけども、児童館に行っている子どももいたりしますので、もう追っかけるのが大変ということで、やはり、先ほど申したように、一人感染すると拡大するというのは学校ではないかなと思いますので、なお一層気を付けて対応していきたいと。

ただ、家庭でも気をつけてもらわないと、家庭内感染が子どもに伝播するというところもありますので、その辺も今後注意を促していきたいなと思っております。以上です。

佐藤委員 それではお願いということでお話しさせていただきます。

私、10月からこちらのほうにお邪魔していろいろお話を伺ったり、あと、子どもたちの様子とかホームページで拝見させていただいたりしているわけなんですけれども、一番感じますのは、コロナ禍ではあったんですけども、学校現場の先生方のご努力下、出前授業であったり、ちょっと外部の方を呼びながら、あるいは幼稚園、小学校、中学校の交流をできる範囲で、やっぱり3密であったり、ソーシャルディスタンスだったり、そういうことを意識しながら、本当に子どもたちの笑顔のためにやっていただいたなというところでとても感謝しているところです。ありがとうございます。

それで、コロナ禍ということが2年目に入りますので、令和2年度にいろいろ経験値としてこういう場合はこうだったなというところを根底に生かしながら、ただ、いろいろな状況の変化がありますので、そここのところはもちろんご検討いただきながら、お一人で抱え込まずに、教育現場でもクラス担任が一人抱えることなく組織としてやっぱりどうするんだというところをご検討していただきながら子どもたちの健やかな成長というところをこれからも、そもそも予定していることについてはできるだけやれる方向で、もちろんコロナの状況、変異株とかそういうところもあったりしているところもございますので、そういう環境に対応しながら、ぜひ子どもたちのためにこれからもご尽力いただければというふうに思います。以上でございます。

〔小岩主事〕 他にご質問等ございませんか。よろしいでしょうか。（「はい」の声あり）

(2) 教育長報告

〔小岩主事〕続きまして、(2) 教育長報告について、内海教育長からお願いします。

〔内海教育長〕私の方からは、2月の校長会になってしまいますが、3月は校長会がなかったので2月の中で資料を出してきました。

一番のあれは真ん中の地震です。2月13日でした。大きな地震がありました。今までは大川小学校の事例を参考にハザードマップを超えたところに学校の先生方の安全確保を求めているような内容になっていました。そこら辺のところは、三品専門員にいろいろご尽力いただいて改善されたところではあるんですが、今回、震度5弱、5強になったときに、学校はどこまで出てくるのかという問題が出てきたところでございます。大川のほうはクリアしているんですが、そうなりますと、そこに①松島町地域防災計画というのがあるんですが、これと連動していない部分もあったので、それに合わせて対応していきましょうということで、今改善がなされて、手直ししたところだと思います。

その中で問題として挙げたのが、児童生徒がいない夜間をどうするか。じゃあ児童生徒がいる昼間の対応をもう一度確認してください。日曜・祝日の対応を確認してください。nopaメールについての確認をしてください。職員の出勤体制について確認してください、町内・町外職員がいますのでそこら辺のところ。あと被害報告、例えば60分から90分以内で一報を欲しい。状況にもよりますけれどもね。津波とか来ていたら報告というのは厳しいものになるかとは思いますが、それから、夜間の発生時に管理職が行って目視の報告、それから夜が明けてからの報告は2度は必要だろうなという確認とか、これもさせていただきました。これが2月の校長会のポイントになりました。

裏面をご覧ください。

今度は、令和2年度の公立学校入試状況についてです。

細かい資料はプライバシーの関係で出せませんが、私のほうから粗くご説明させていただきますと、公立学校進学が53名、私立学校進学、他というのもあるんですけども、他というのは在宅という意味もあるんですが、その子どもたちが42名。この数字を見ますと、ほぼほぼ半分。私たちの時代ではちょっと考えられないような公立学校の入試に変化が出てきているのではないかなという気がいたします。ここ10年でも様変わりしているという校長先生のお話もありました。

下をご覧ください。これは私立の名前なんです、「聖和・リベラルアーツ」「聖和・プログレス」「日本ウエルネス宮城・スポーツ」「常盤木・リパティ」「常盤木・国際」「大崎中央・介護福祉」「生文大・美術・デザイン」「聖ドミニコ・キャリアデザイン」「宮城学院・特進MG」、そしてこれは県立なんです「県立東松島高校・I部、II部、III部」というような形で、いろいろな特色を生かした学校、それに子どもたちが公立であらねばならぬとか私立であらねばならぬとかじゃなくて、自分の目標がきちんとした子どもたちはいろいろなところを受験して合格しているということになります。全員の子どもたちが進路決定しましたので、私としては大変うれしいなと思っております。粗いですが、公立学校の入試状況でございます。

以上です。

〔小岩主事〕ありがとうございました。それでは、教育長からの報告についてご質問等ございますか。

(質疑)

安倍委員

受験の話があったのですが、やっぱり援助というか国からの支援金とかで、やっぱり去年あたりから公立が増えているのかなというのがすごく身近なところで聞かれるようになりました。

地震なんですけれども、ここに来て2月、3月、まだまだ気をつけなければならないということで、災害が来るかもしれないじゃなくて災害が来るという前提で生きていかなきゃいけない時代に突入しているのかなという、何かもうコロナ疲れもあるのに、ここに来て地震で、津波という注意報も出たので、今回に関してはかなり私ども家族も避難準備という形で待機していました。

学校なんですけれども、災害によっては避難所が開設されたり、この災害のときにはちょっと開所できないという形がそこそこの学校とかで違うように町のほうからも出ていますけれども、例に挙げたら、松島中なんかは川があるので水関係だと駄目ということで、三居山のあのほうに避難するという形にはなっているんですね。それで、いつどのタイミングで、今回は夜でしたけれども、どのタイミングでどの規模が来るかというのは予測が不可能な状態なので、避難訓練として上に上がることはしているんですよ。ただ、学校評議員会で前年度ちょっと話が上がったんですけども、上がったまではいいんですけども、ほかの地区の方もそこが指定場所というか避難場所なんですね。そこに上がってしまったら、ある意味、もし水が来てしまった

りなんかしたら孤島になるということをちょっと校長先生は危惧されていて、どうしようと。その先を考えなきゃいけないということを言われていたのを思い出したんですね。

学校としてはいろいろ備蓄品だったり、避難所として開設する可能性もあるということで、いろいろ蓄えというか子どもたちを守るためのものは用意されていると思うんですけども、果たして上に上がったときに、その後どう身を守るかということが必要なのかなと。避難するときに、例えば避難訓練のときからでもいいんですけども、本当にちょっとしたこういう水と、水を入れたらご飯ができる軽いご飯とか簡易栄養食品だったり、そういうちょっとしたバックが絶えずどこかにあって、それを持って避難する。せめてそこでちょっとだけしのげるというか、そういうようなものを何かしないと、上に上がったものの結局は上がったけど助けが来るまでという、そこまでを考えるような避難訓練じゃないですけども、そういうのを家庭でそろえるのもよし、教育委員会なり町なりで何か対策をするのもよし、そういうのも、ただ上に行って、はい、帰ってきて時間はという形態とはちょっと違う形での訓練も要るのかなと。先生方もきつといろいろ予期せぬことが起こるかもしれないので、そういう考えがあってもいいのかなと、せめて自分の身近なところから取って、かけてとか、リュック背負って避難するというようなことも検討しなければいけないのかなと思ったりしました。特に水の避難のときに関しては。

それで、中学校のほうのnopaメールなんですけれども、2月のときのやつでちょっと安心はしたんですけども、3月は別に来ないからどうというわけではないんですけども、来たり来なかったりがあったので、統一性はないのかちょっとあれなんですけれども、この間あったことでちょっと安心して、次はこうなんだということも見えたので、あれぐらいの大きな規模で津波注意報も出たりとかして、ご自宅いろいろあると思うので、出すなら出すで統一していったほうがいいのかなというふうに個人的には感じました。そんな感じです。

内海教育長

三品先生、これをちょっと見ていただいたので、要望も含めてあるんですけども、感想でもいいですからご意見をお願いします。

三品専門員

避難については地理院地図というものがインターネットで調べられるんですね。その場所、例えばこの場所をチェックすると、高さが全部分かるんです。これで、各学校の立地、ある場所の高さを調べますと、例えば第一小学校は0.7メートル、つまり70センチ。周りが高いので津波が来て、第一小学校は70センチほどの池というか、津波がたまったんですね。そうやって全部調べました。松島中学校も二小もですね。ただ、松島中学校や第二小学校は川からすぐなので、例えば3メートルの津波が遡上してくると、堤防のないところからしみ出して、やっぱり学校の近くまで来るだろうということを想定しました。

それから、日本全国で一番高い津波が来たのは、女川の沖にある島で40数メートルの津波が来ているんです。遡上は違います。つまり、遡上というのは海から来て平野に来て、そのまま上がっていったという、これはあちこちで30メートル近くまで上がっています。道路や畑などをずっと上がってですね。女川の場合は、10年前は約20メートルと言われている。それで、松島町にあれと同じような規模の津波が来ないということはないので、各地を調べて、それで自分の学校から一番近い場所で高いところはどこかという、例えば松島中学校は三居山になるということです。第二小学校も第二幼稚園さんも同じです。あの辺に住んでいる方、通りかかった方は一斉に逃げ出すと、やっぱりあの山に上がっていこうということが想定されます。

もう一つ、セザールの中に避難するという方法がありますが、そこに、垂直避難したその先がないので、もっと遠くに行けなくなるんですね。それで、三居山ということになりました。

最初は空き地があったので、その辺にみんな集まることができるだろうということになったんですが、どうもその空き地がなくなって住居が建つようなふうになったけれども、道路に行ってみたら全員避難はできるということです。

学校から避難する場合は、近くに水筒などがあればそれを持って避難することもできますけど、まずは自分の身を守って、遠く高いところに避難するというのが優先されると思いますので、まずあれば持っていくんですが、それから避難場所として設定してあれば、その避難のところに水とか簡易の食料などを置いておくことができますが、そういった施設は今のところないので、まずは身を守るということでいこうというふうになっています。

第一小学校の場合は後ろに新富山という景色がいい山がありまして、ここが約30メートルぐらいの高さになっています。ここよりも安全なところは、もっと水族館から上っていった石田沢と

いうところは50メートル、もっと後ろの山に登れば利府のほうに行けば100メートルになるんですが、そこまでの距離を測ると、小さい子どもからみんなが避難していくのに1時間以上かかるということです。瑞巖寺の後ろを通って、東北本線の線路を越えて、お墓があって、そこからずっと、私も行ったことがあります、そのルートは非常に遠いということになるので、じゃあ新富山に避難しようというふうになりました。

そのときの記憶であるのは、私に対して質問したんですが、これで駄目になったら、あとは救命胴衣しかないねという話になっています。例えばすごい波が来てさらわれたときに、救命胴衣があれば何とか助かる。でも、300人の救命胴衣を置いておいてそれを着せて逃げるというのはどうかということと、あまりにも予算がかかる。それを保管しておく場所も必要になるというようなことです。

第一小学校の場合は、プールの脇のところ、あと体育館の中に食料と水と毛布などがありますので、もし被害に遭わなければそこで一時待機することができるということになりますが、安倍委員がおっしゃったとおり、遠くに逃げたときに自分の身を守るプラスお水かなんかで安心したりすることができるという意味では、避難の仕方というので、今日は机上に小さめの水のペットボトルも置いてありますが、こういったものを教室に置いておいて、いざというときに持っていくみたいなことも可能といえば可能であるかなというふうに思いました。

今後、防災関係の今マニュアルができて、今度は令和3年度のマニュアルが私のところに届く予定になっておりますので、そういったご意見も取り入れられるかどうかということを確認していきたいというふうに思っています。

以上です。

内海教育長 あとはnopaメール配信の要件が出せればと思います。

〔小岩主事〕 他にご質問等ございませんか。よろしいでしょうか。（「はい」の声あり）

（3）3月定例議会・臨時議会報告

〔小岩主事〕 続きまして、（3）3月定例議会・臨時議会報告について、事務局から報告をお願いします。

〔赤間課長〕 それでは、3月定例議会及び3月22日に開催されました臨時議会の報告をさせていただきたいと思っております。

3月定例議会におきましては、2月の教育委員会のほうで予算の内容を説明させていただきまして、特別委員会分科会方式で教育民生常任委員会、あと総務経済常任委員会の2つに分かれまして審議を受けました。審議を受けた結果、全て3月18日に審議、審査によりまして、歳入歳出とも承認されたという結果でございました。

続きまして、一般質問でございますが、11ページから13ページで3人の議員の方から一般質問を受けておりました。

1番に杉原議員ですが、認定こども園開設による、魅力ある教育環境の充実についてというタイトルでご質問を受けております。7項目のご質問があるんですが、その中で（3）番と（7）番が教育委員会の回答ということでお答えしておりますので、その旨をご説明申し上げます。

（3）番の現場の保育士・幼稚園教諭、また教育委員会内で話し合いは行われているのかというご質問に対しまして、教育長答弁といたしまして、教育委員会ではこれまでも随時経過報告を実施しており、2月12日に開催された総合教育会議においても、教育課の認定こども園準備室の説明を基に協議しております。総合教育会議におきましては、町、社会福祉協議会、地域、家庭が一体となった取組の推進へ賛同が得られ、さらに安全面や子育て支援の取組、町としての関わりなどについて意見交換がされております。幼稚園職員につきましては、これまでも将来的な認定こども園への移行を話してきておりますが、今後、具体的な内容を周知していく予定ですのでお答えをさせていただいております。

あと（7）番ですが、令和7年度の第五幼稚園の認定こども園化と同時に、学区外からでも入学できる小規模特認校制度を活用し、第五小学校と一体となった魅力ある教育活動を展開すべきと考えるがどうかというご質問に対しまして、こちら教育長のほうから答弁させていただいております。

第五小学校の小規模特認校の活用等につきましては、少子化が進んでいることから、第五小学校の児童数も減少傾向であり、学校の通学区域の弾力化による小規模特認校制度の検討も一つの考え方として認識しております。学校は地域のコミュニティづくりの拠点ともなることから、魅力ある学校づくりを進めてまいりたいと考えております。幼児教育と小学校の接続については、これまでも幼保小の連携に力を入れてきており、認定こども園

に移行しても重点施策として継続してまいりますと回答を差し上げているところでございます。

続きまして、3-1の菅野議員の一般質問でございます。こちらにつきましては、水道蛇口の感染症予防対策ということでご質問いただきました。これは福祉課のほうと、教育委員会のほうということで、教育委員会の答弁といたしまして、すみません、ご質問内容なんです、学校のクラスター対策として、「手洗いの過程で間接的な接触を極力抑えることができ、衛生的な学習環境を強化する」ということで、蛇口の自動水洗化は役立つものと思われる。本町の小中学校や幼稚園及び保育所、学童保育所の水道蛇口の感染症対策について、町当局及び教育委員会の考えを伺うということでご質問がございました。

教育委員会の回答といたしまして、学校施設におきましても、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、非接触型の自動水洗化が有効であると認識しており、新型コロナウイルス感染症対策地方創生臨時交付金を活用いたしまして、幼稚園及び小学校の水道蛇口の自動水洗化を検討しております。また、中学校につきましては、水道改修工事の中で水道蛇口をレバー式に変更する予定ですということでお答えしています。

この内容につきましては、臨時議会でコロナ臨時交付金を補正予算のほうで、この蛇口の補正予算をお認めいただいたということで、後ほど説明をさせていただきたいと思っております。

続きまして、6番の緑山議員の質問でございます。これは3つほどございまして、町内の児童生徒の学力向上策についてということで、3点ご質問がございました。

1点目なんです、本町の児童生徒の学力が低いことについて以前から問題になっているが、学力レベルの直近の正確な状況はということでのご質問がございました。

こちらの教育長答弁といたしまして、本町の学力についてのご質問につきましては、まず最初にお話しさせていただきたいのは、全国学力状況調査については、市町村のランクづけや学校のランクづけの公表はこれまでもされていないということです。令和2年度はコロナ感染症対策の学校休業があり中止となっております。令和元年度の全国学力テストの本町の結果では、学校によっては全国より平均正答率が高かった学校もあり、その年によっても変わるものでありますので、以前から問題となっているということは一概に言えないと考えておりますということで回答しています。

(2)です。こちらのご質問は、学力が低いことにより、進学、特に高校受験にも支障をきたしているようであるが、学力が低いことについて考えられる理由はということです。

こちらの教育長答弁といたしまして、進学、特に高校受験については、本町の卒業生が支障をきたしたということはございません。昨年度は難関校にも合格者が多く、今年は私立校は全員合格しております。皆、目標を持って頑張っており、各家庭や学校でも一生懸命支えているといった状況をご理解いただければと思います。

学力に影響する要因につきましては、宮城県の実態調査と同様に、家庭学習時間やゲーム時間が課題となっております。本町においても学校ごとに全国学力・学習状況調査の結果の保護者へのお知らせの中でも、改善策やご協力をいただきたいことなどを周知しておりますということで回答しております。

(3)です。学力レベルは町内への転入希望者にとって関心事の一つであり、レベルが低ければ転入に二の足を踏むとも考えられる。学力向上の方策はということです。

こちらの教育長答弁といたしまして、転入のご相談で各学校の学力について聞かれたことはこれまでもなく、二の足を踏まれたということは確認しておりません。

学力向上については、教育の重要課題でありますので、各学校とも取り組んでおります。町としても経年的に一人一人の学習の達成度や課題が明確となるよう、教師による到達度テストを実施しております。

学力向上については、本人のやる気、学校、家庭の連携が重要であり、今後とも学校においても指導力向上に取り組んでまいりますので、ご指導方よろしく申し上げますということで回答を差し上げております。

3名の方の一般質問につきまして、今説明したとおりのご回答を差し上げているという内容になっております。

続きまして、14ページの補正予算、これは今週の3月22日の臨時議会におきまして、コロナ臨時交付金の第3次補正の中で補正予算を認めていただいたものになっております。

教育委員会に関しましては、表の一番下から(8)番、(9)番、こちらのほうで補正予算を組んでおります。

(8)番の学校施設衛生環境対策事業、こちらにつきましては、先ほどの一般質問でもちょっとご説明しましたが、小中学校の手洗いとか水飲み場の水栓の蛇口の部分を自動水洗化するということでの工事でございます。自動水洗化といっても、蛇口の部分に自動水洗の機械を取り付ける簡単な工事でありまして、それを幼稚園が22か所、小学校が83か所ということで、こちらの工事を実施予定でございます。

(9)番の中学校特別教室感染対策空調設備整備事業、こちらにつきましては、松島中学校の音楽室、こちらにエアコンをつけるという内容でございます。ちゃんと普通教室にはエアコンを昨年取り付けましたが、特別教室はつけていないという状況でございました。音楽の場合ですと、音を聴いたり音を出したりという部分で、窓

を閉め切ったの授業ということになりますので、その部分でなかなか温度管理がしづらいということで、コロナ対策の部分もございましたので、まずは音楽室にエアコンをつけて学習環境を整えましょうということで、この補正予算を上げさせていただきます、承認していただいたということでございます。

以上でございます。

〔小岩主事〕それでは、3月定例会・臨時議会報告について、ご質問等ございますか。よろしいでしょうか。（「はい」の声あり）

5. 協議事項

(1) 令和3年度（令和2年度対象）松島町教育委員会教育行政点検評価報告書の作成について

〔小岩主事〕続きまして、5番、協議事項に移ります。(1) 令和3年度（令和2年度対象）松島町教育委員会教育行政点検評価報告書の作成について。大宮司班長から説明いたします。

〔大宮司班長〕それでは、資料の17ページをご覧ください。

令和3年度（令和2年度対象）松島町教育委員会教育行政点検評価報告書についてということでお示しております。こちらの教育行政点検評価報告書につきましては、地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づいて点検評価を行った上で公表するということが義務づけられております。それに基づいて、松島町教育委員会としても、令和3年度、令和2年度事業分をこのスケジュールの流れで実施してまいりたいと考えておりました。

本日、こちらでご説明をいただいて、これでよろしければこのスケジュールのとおりに進めさせていただきまして、9月中旬、議会への報告と公表に向けて事務を進めてまいりたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

裏に、各学校等に点検評価していただくためのフォーマットのほうをお示しさせていただきまして、これでそれぞれ基本施策や事業目的、概要に基づいてどのように実施して、それがどのように効果があったかというところを、それぞれの学校のほうで評価して報告していただいたものを取りまとめていくという形にさせていただきたいと思っています。

途中、8月下旬には議案としてその中身のほうをお示しするような形で、各学校には早速、点検と評価をしていただきたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

以上です。

〔小岩主事〕それでは、ただいまご説明しましたスケジュール及び様式で進めさせていただきたいと思いますが、よろしいでしょうか。（「はい」の声あり）

(2) 令和3年4月定例会について

日程案：令和3年4月23日（金）午前10時00分 松島町役場3階 302会議室

〔小岩主事〕それでは、(2) 令和3年4月定例会について、日程案として令和3年4月23日金曜日、午前10時から松島町役場3階302会議室で予定しております。こちらの日程でよろしいでしょうか。（「はい」の声あり）よろしく申し上げます。

6. その他

(1) 松島町教職員離任式について

日程：令和3年3月31日（水）午前9時00分 松島町役場2階 201会議室

(2) 松島町教職員宣誓式について

日程：令和3年4月2日（金）午後2時00分 松島町役場3階 大会議室

(3) 松島町立幼稚園入園式及び松島町立小中学校入学式について

日程：令和3年4月9日（金） 各幼稚園、各小・中学校

〔小岩主事〕続きまして、6番、その他に移ります。(1) 松島町教職員離任式、(2) 宣誓式、そして(3) 幼稚園入園式及び小中学校入学式について、続けて大宮司班長より説明いたします。

〔大宮司班長〕こちら、それぞれ前回の定例会のときにもお話をしておりましたが、教職員離任式につきましては3月31日の午前9時、役場の201会議室で、さらに宣誓式は、年度明けまして4月2日金曜日、午後2時から役場の大会議室において開催を予定しております。こちらに関しては、瀬野尾教育長職務代理者のほうに教育委員の先生方を代表してご出席いただくということで変わりなく調整をさせていただいておりますので、そのように進めさせていただきたいと思っておりました。

(3)の各幼稚園の入園式、小中学校におきましても、全て4月9日に幼小中と実施される予定となっておりますが、こちらも新型コロナウイルスの関連で、来賓の方々を極力少なくして開催するということになりましたので、今年も教育委員の先生方のご出席はなしということで調整させていただきますので、日程だけお知らせという形になりますが、どうぞよろしくお願いいたします。

以上でございます。

〔小岩主事〕ただいまのその他も含めて、全体を通してご質問等ございませんか。

(質疑)

鈴木委員

1つ教えて下さい。調べればすぐ分かるんですが、先ほど小学校の入学が全部で87名、中学校が99名と。幼稚園が全部合わせても25人ですか。例年こんなもんでしたっけ。ちょっと少ないなと思って気になっていたんですけども。

大宮司班長

幼稚園のほうは、今度の4歳児が町全体で31名いるので、やや少なめだとは思いますが。

さらに、幼保無償化の関係で、保育所を希望されるお子さんも大分増えてきているというところがありますので、入園率が少し下がっています。全体的に子どもの数も少しずつ減っていますが、それに加えて、やはり無償化により保育所へ入所してというところで、転園というか途中で保育所に行かれる方もいますし、今年に関しては大分少ないというの、やはり影響があるのかなというふうに委員会としては考えているところです。

鈴木委員

ちょっと少ないなと思ったものですから。

大宮司班長

第二幼稚園も第五幼稚園も4名なので、大分少ないですね。

鈴木委員

風邪なんか引いて何人か休んでしまったら寂しいですね。

大宮司班長

第二幼稚園に関しては、高城保育所分園のお子さんと同じ施設で保育をされているので、日々の活動のときにはもう少し多い人数で活動しているような形にはなります。

佐藤委員

教育長の報告の中で、先ほど何うことを失ってしまったんですけども、全国学力・学習状況調査は6年生と中学生ということで決まっているんですが、そのほかの部分で学力をはかることとして、例えばCRTとかなんとかというのは、町でこれというのは決めているのもあるのか、学校ごとなのか、そのあたりをお教えいただきたいと思います。

内海教育長

町で小学校も中学校も統一した業者でやっております。

内海教育長

今までは、2月頃やっていたのを、それでは2月に結果が分かったとしても、その子どもたちに反映できないんじゃないかということで、早い時期に、4月か5月にやるようにしています。そして、その結果を基に後半をやるようにということで、違いましたか。

佐藤委員

標準学力調査とかですか。

大宮司班長

東京書籍の標準学力調査です。

佐藤委員

それは町の予算でやっているものですか。

大宮司班長

東京書籍の標準学力調査というものを予算化しており、小学校も中学校もやります。

佐藤委員

町の予算で取ってもらっているのが、とても保護者にとってはありがたいと思います。

内海教育長

それはどちらかという基礎基本なので、今回課長が言った学校のレベルがどの辺だというようなあたりになると、それだと結構、基礎基本のほうは平均値をちょっと超えていたりしますので。求めていたのは全国学力・学習状況調査の内容みみたいな話だったので、それを見るとということなんです。

佐藤委員

標準学力調査を全学年でやっている、目標値があって達成率もあっている、個を見取るというところからすると非常に効果的な調査であるというふうに思います。

7. 閉会 午前10時55分

〔小岩主事〕それでは、松島町教育員会令和3年3月定例会を閉会したいと思います。

閉会の挨拶を内海教育長よりお願いします。

〔内海教育長〕瀬野尾委員に代わり、私が最後に挨拶させていただきます。

これがお手元に挟んでありますけれども、企画調整課でつくった「復興のあゆみ」の表紙になる、震災の年に生まれた子ども、今の現3年生が未来という人文字をつくって、それが冊子の表紙を飾ることになります。

今度、教育委員さんとお会いするのが4月23日ということで、その中でコロナが収まれば、私としてはうれしいなと思います。収まらなければいろいろな行事が変則的になりますが、安全安心を中心に学校運営あるいは学級経営をしてもらいます。どうぞよろしくお願いいたします。

長時間にわたりありがとうございました。

この会議録の作成者は、次のとおりである。

教育課学校教育班 主査 岸 淳一

上記会議録が正確であることを認め、ここに署名する。

令和3年4月23日

委 員

委 員